

GMBREPORT

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

厳しい経営環境の中でも、グローバルな販路拡大とコスト競争力の強化に努めます。



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
阪口 有一

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第51期(2012年4月1日～2013年3月31日)上半期の中間報告書をお届けいたします。当期の上半期における経済状況は、わが国においては東日本大震災からの復興需要などによる一部の回復傾向が見られましたが、長引く欧州債務問題や中国などの新興国における経済成長の鈍化など、世界的な景気の停滞感が広がり、円高の継続など不透明な状況が続いております。また、自動車業界においても、世界的な消費動向の減退が懸念されております。

このような環境の中、当社グループは、欧州や韓国国内における新車販売動向の影響や海外補修用品市場における円高や価格競争などにより、販売面で苦戦しました。また、補修用品市場における取扱製品の増加、新車用品市場での販路拡大、コスト競争力の強化などに努めてまいりましたが、想定以上の数量・価格面での販売減少の影響、固定費の増加などにより、収益面でも悪化することとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が23,504百万円(前年同四半期比2.1%減)となり、営業利益は1,208百万円(同38.4%減)、経常利益は1,040百万円(同37.5%減)、四半期純利益は442百万円(同46.8%減)となりました。

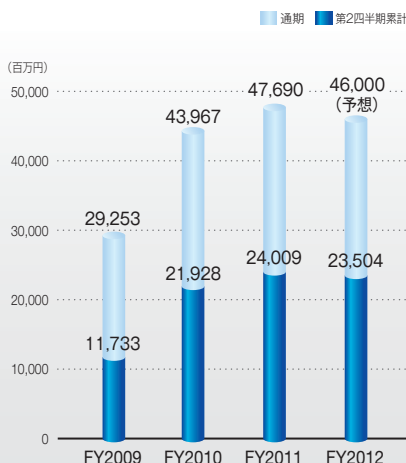
当期の下半期は、新車用品市場においては、特に韓国国内や欧州において順調に推移するものとした当初予想に反して需要の減少が見込まれますが、これらの販売減少に対して、販路拡大やコスト削減の対策を強化してまいります。海外の補修用品市場においては、円高や価格競争による販売の低迷が継続しておりますが、海外生産拠点の生産性向上と海外調達ルートの拡充を通じてコスト競争力を強化してまいります。

以上より、通期の連結業績は、売上高・収益面ともに当初予想を下回る見込みであり、売上高46,000百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益2,100百万円(同25.8%減)、当期純利益340百万円(同77.2%減)を見込んでおります。

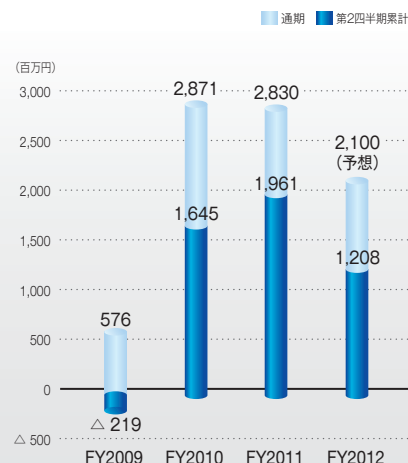
財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

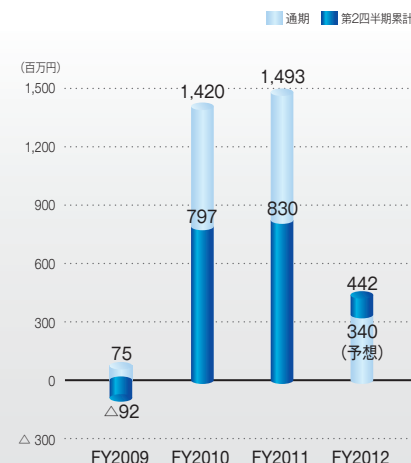
売上高



営業利益

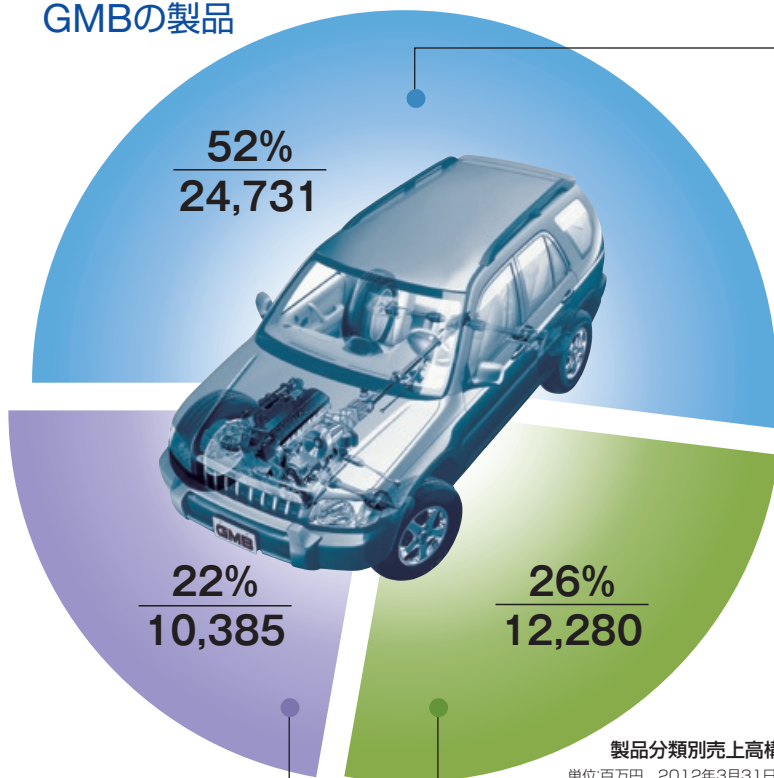


四半期(当期)純利益



GMBは、こんな会社です。

GMBの製品



駆動・伝達および操縦装置部品



ユニバーサルジョイント



ステアリングジョイント



等速ジョイント



サスペンション



バルブスプール



ピニオン・シャフト

ベアリング



テンショナーベアリング



アイドラーベアリング



ボールベアリング

エンジン部品



ウォーターポンプ



ファンクラッチ

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末	前期末
流動資産	21,895	21,967
固定資産	19,062	18,515
資産合計	40,958	40,483
流動負債	14,845	14,718
固定負債	6,171	6,615
純資産合計	19,942	19,149
負債及び純資産合計	40,958	40,483

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
営業CF	1,356	962
投資CF	▲1,793	▲1,891
財務CF	294	493

POINT

当期の設備投資は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の拡充を中心に、年間36億円を計画しております。上半期では約16億円の設備投資を実施いたしました。

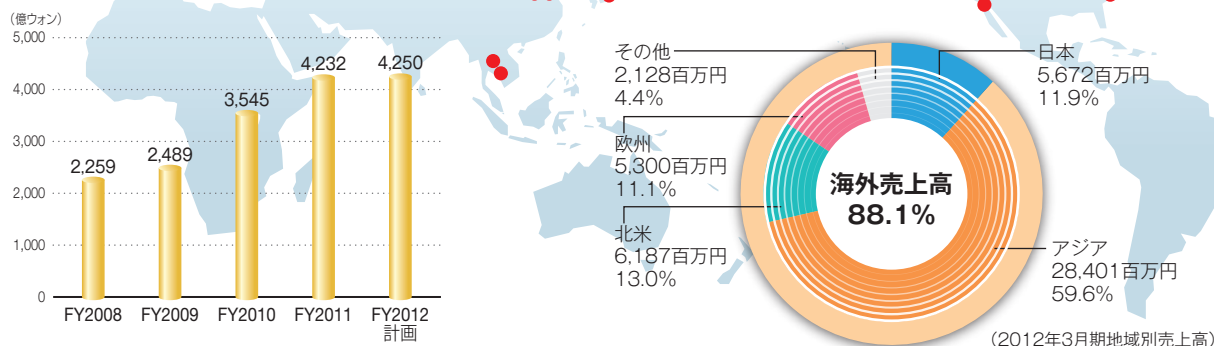
POINT

上半期は、主にたな卸資産が減少するなど運転資金収支の改善により営業活動によるキャッシュ・フローが前年よりも増加しました。

独立系の自動車部品メーカーとして、 アジア新興国を中心に独自のグローバル供給体制を確立しています。

GMBは独立系の自動車部品メーカーとして、韓国系をはじめとする世界の自動車メーカー・部品メーカーと取引をしております。また、海外におきましては、修理・交換専門部品メーカーとしてのブランドも確立しております。海外のグループ生産拠点を有効活用して、グローバルでタイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。

▶ GMB KOREA CORP. の売上高推移

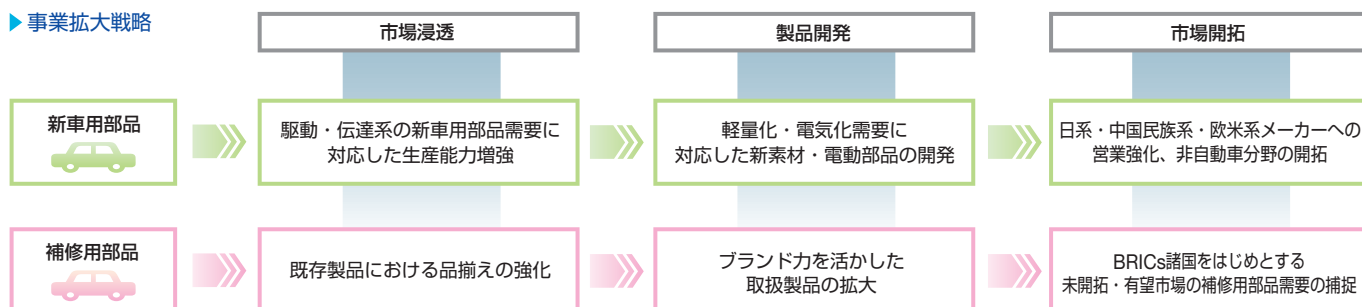


拡大するグローバル自動車市場に対応する事業拡大戦略

近年の自動車業界では、国内市場が縮小傾向にあるなかで、新興国を中心とした海外需要は依然として拡大しておりますが、急激な環境変化にも晒されており、グローバルかつ柔軟に対応できる生産物流体制が求められております。さらに、環境対応製品の広がりも技術的な対応課題となっている一方で、補修用部品市場においては、引き続き厳しい価格競争が続いております。

このような環境変化に対応しつつ、事業を拡大していくための中期的な経営の方向性として、「既存基盤(規模・量産技術)を活かした成長と収益確保」と「今後の成長アイテムの開発と新たな加工技術の確立」を掲げております。

▶ 事業拡大戦略



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
売上高	23,504	24,009
営業利益	1,208	1,961
経常利益	1,040	1,663
四半期純利益	442	830

POINT

売上高はほぼ前年並みとなりましたが、減価償却費などの固定費の増加や海外補修用部品市場における厳しい価格競争の影響などにより、営業利益は前年同期比で38.4%減少しました。

セグメント情報

(単位:百万円)

	科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
日本	外部売上高	5,682	6,287
	セグメント利益	86	444
米国	外部売上高	2,595	2,691
	セグメント利益	46	129
韓国	外部売上高	14,488	14,423
	セグメント利益	970	1,186
中国	外部売上高	614	636
	セグメント利益	10	50
タイ	外部売上高	189	167
	セグメント利益	74	140

POINT

日本セグメントにおいて、ウォーターポンプを中心に海外補修用部品の販売が、円高や価格競争などにより数量・価格面ともに苦戦したことなどの結果、減収減益となりました。

商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 阪口有一
 従業員数 連結 2,659名 単体 400名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930
 Web Site http://www.gmb.jp
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番1号
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481
 グループ会社 GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
 GMB NORTH AMERICA INC.(アメリカ ニュージャージー州)
 青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
 青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 1,052名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 登志夫	700,350	13.4
松岡 光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	249,070	4.8
松岡 百合子	234,625	4.5
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	206,500	4.0
松岡 弘枝	122,500	2.4
金本 順子	98,750	1.9
松岡 祐吉	86,125	1.7
飯野 達人	60,000	1.2

(注)持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

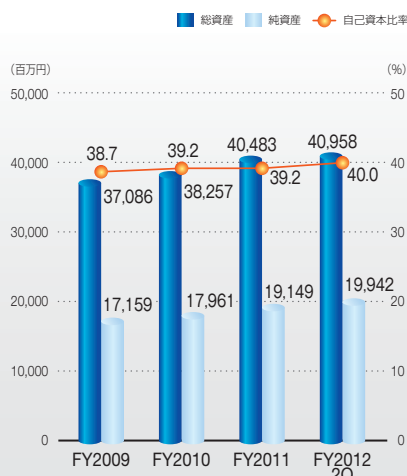
株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 大阪証券取引所市場第二部
 公告の方法 日本経済新聞に掲載
 証券コード 7214

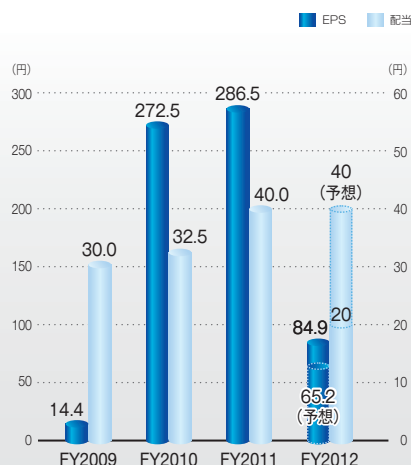
(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

▶ 総資産／純資産／自己資本比率



▶ EPS／配当



▶ ROA／ROE

